

**ヤマハ株式会社**  
**2014年3月期**  
**決算説明会**

2014年 5月 1日



## 決算概要

- 2014年3月期は、対前期増収、各利益段階で大幅な増益  
Q4業績が前回予想から大幅に改善
- 楽器事業は、国内の消費増税前駆け込み等で、前回予想を上回る
- 音響機器事業は、対前期増収も実質ベースでは前期並み
- 電子部品事業は、対前期増収及び構造改革効果で黒字転換

\* 2014年3月期の開示セグメント変更に伴い、2013年3月期の数値を新セグメントベースに組み替えて表示しております。

# 2014/3期 通期業績概要



## ■対前期増収 各利益段階で大幅な増益

(億円)

	13/3	14/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	3,669	4,103	+11.8%	4,080	+0.6%
営業利益 (営業利益率)	92 (2.5%)	260 (6.3%)	+182.1%	220 (5.4%)	+18.2%
経常利益 (経常利益率)	86 (2.3%)	261 (6.4%)	+204.7%	205 (5.0%)	+27.5%
当期利益 (当期利益率)	41 (1.1%)	229 (5.6%)	+455.5%	180 (4.4%)	+27.2%

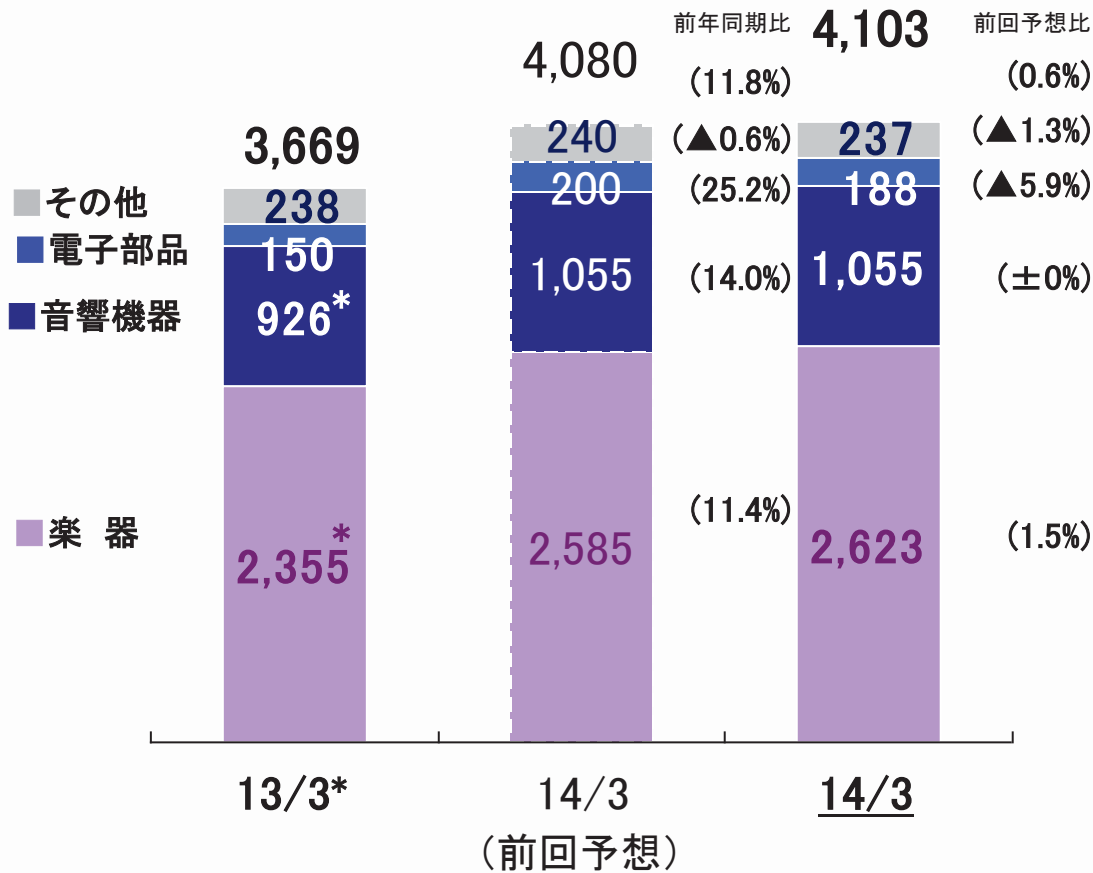
## 為替レート (円)

売上高	US\$	83	100	100
	EUR	107	134	133
利益	US\$	82	100	99
	EUR	103	129	128

# 2014/3期 通期事業別業績



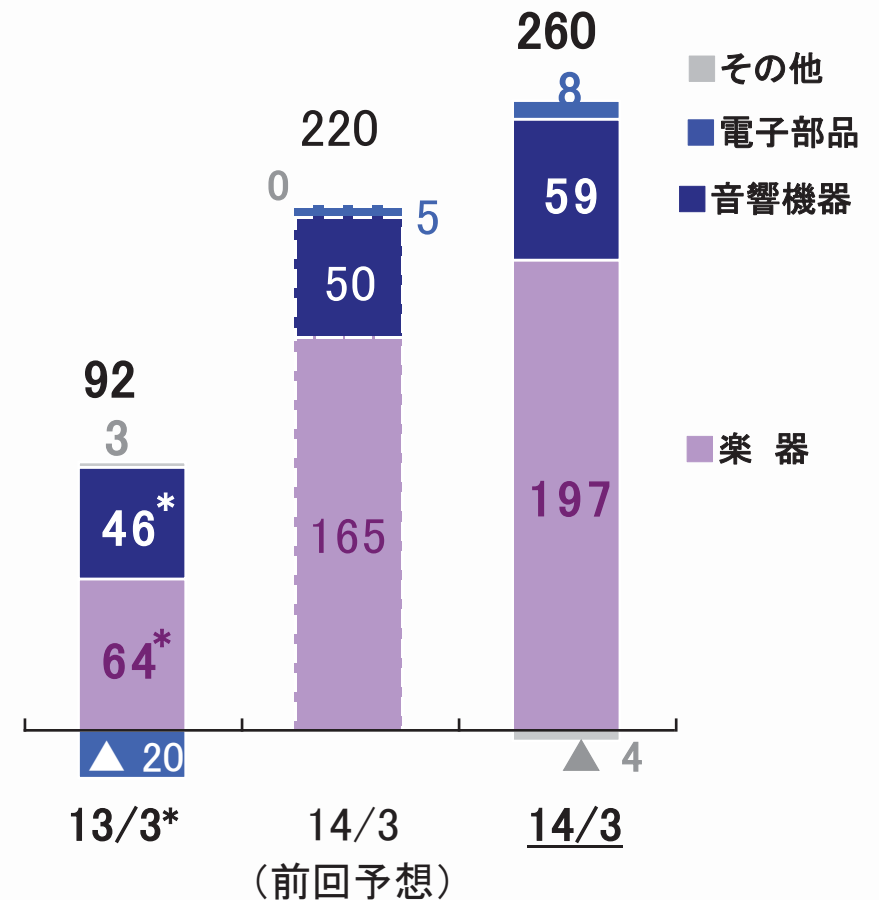
## 売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+428	楽器 +277 音響機器 +140 電子部品 +11
前回予想比較	+20	楽器 +13 音響機器 +6 電子部品 +0

## 営業利益

(億円)

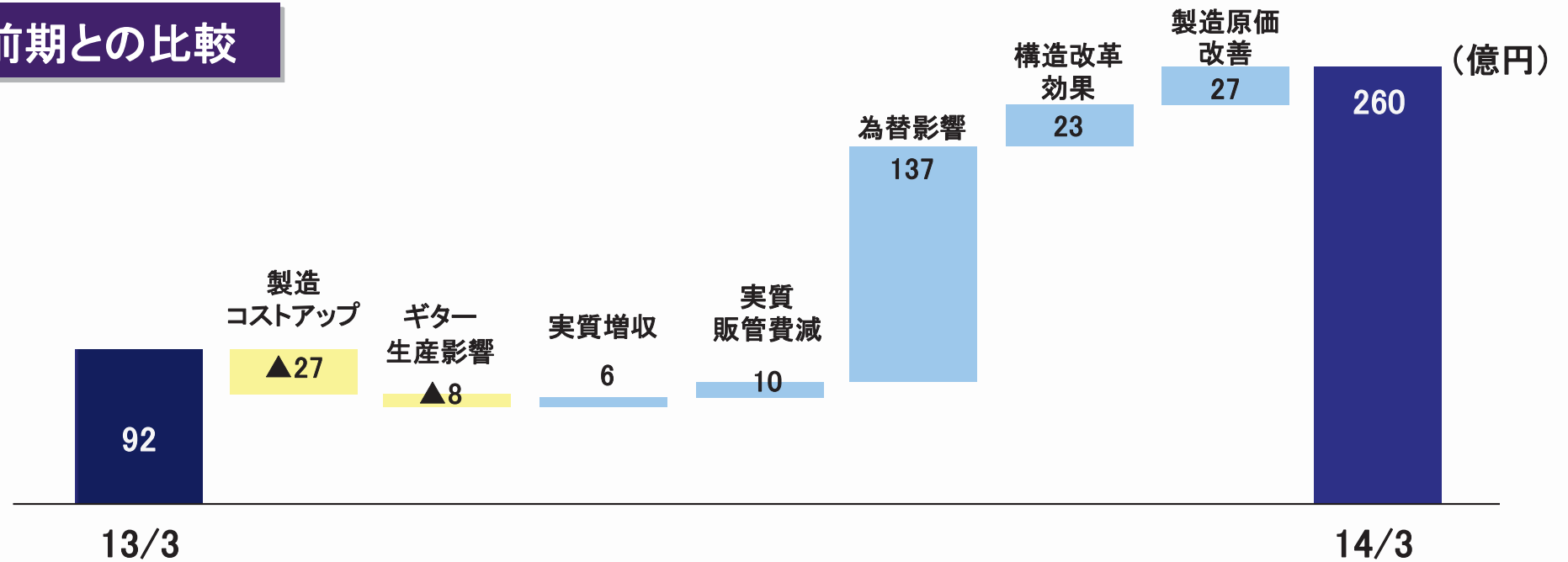


為替影響額 (億円)		
前期比較	+137	楽器 +98 音響機器 +34 電子部品 +5
前回予想比較	+4	楽器 +3 音響機器 +1

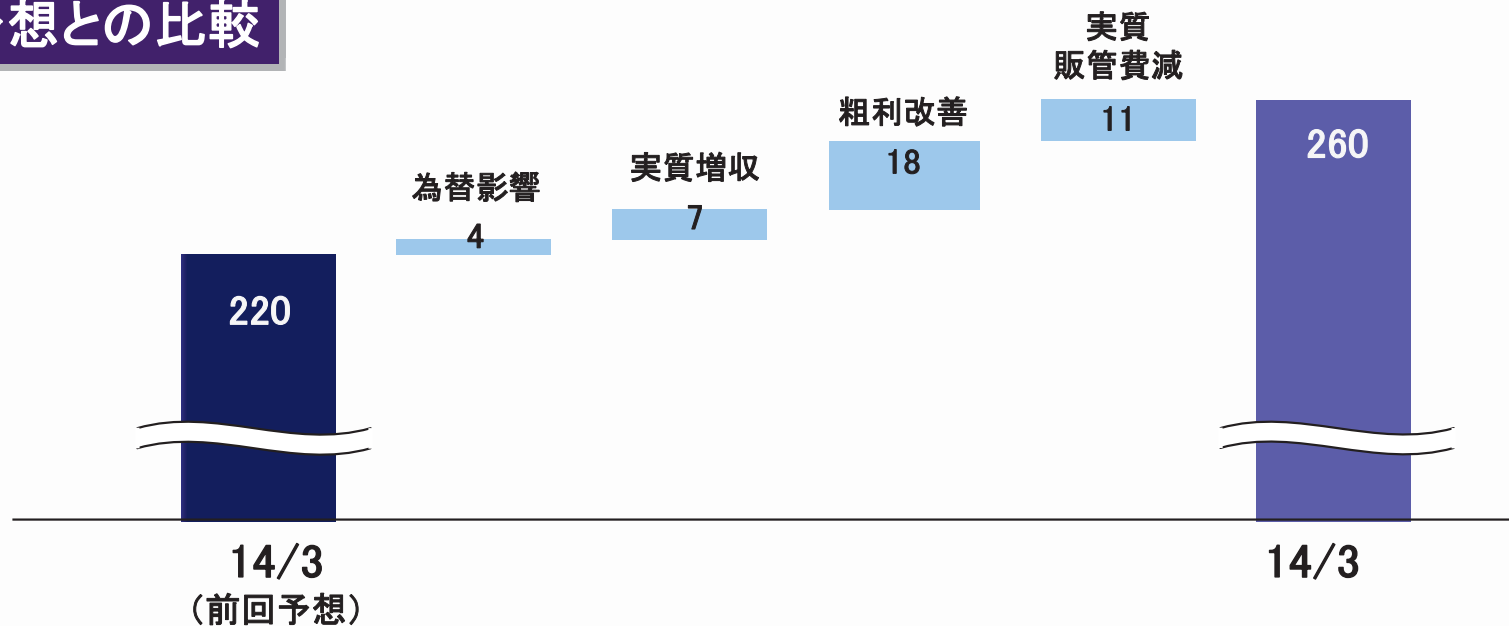
# 2014/3期 通期営業利益増減要因

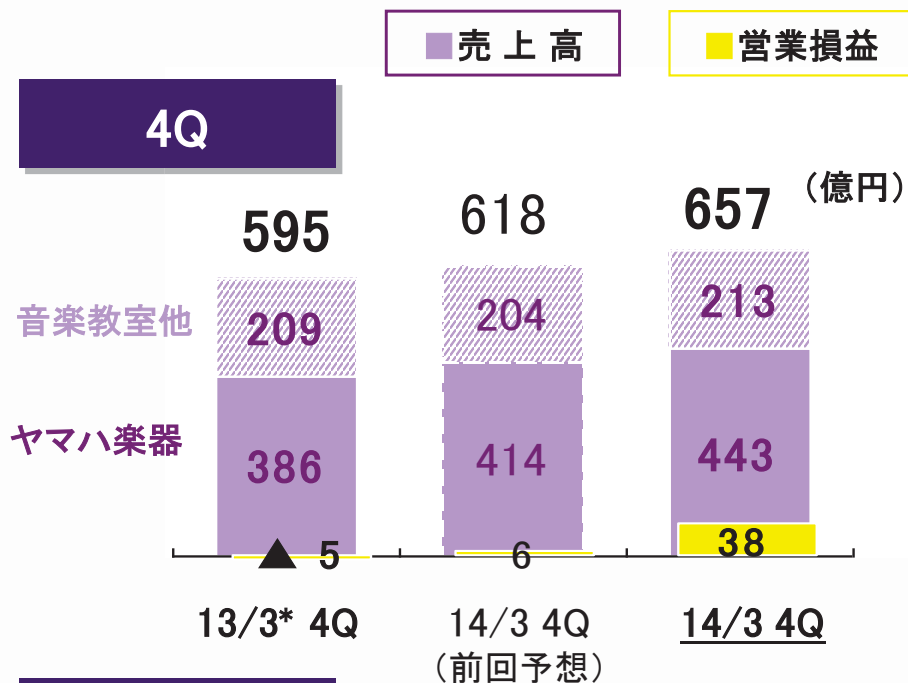


## 前期との比較



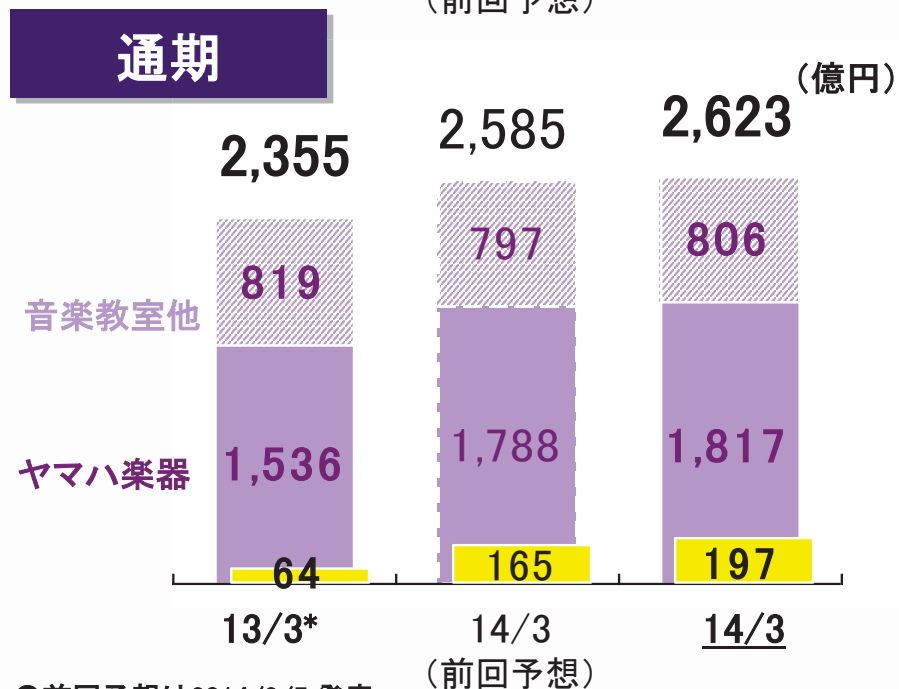
## 前回予想との比較





**4Qの状況**

- ・対前期、対前回予想共に増収増益
- ・電子楽器が好調に推移
- ・国内はピアノ、管楽器等で増税前需要で売上増
- ・損益は、国内市場増収及び経費削減により大幅な増益



**通期の状況**

- ・対前期、前回予想共に増収増益
- ・商品別では、ピアノ、電子楽器、管楽器が概ね堅調に推移
- ・弦打楽器はギター生産影響で対前期減収
- ・市場別では、中国、新興国は期待値に届かず

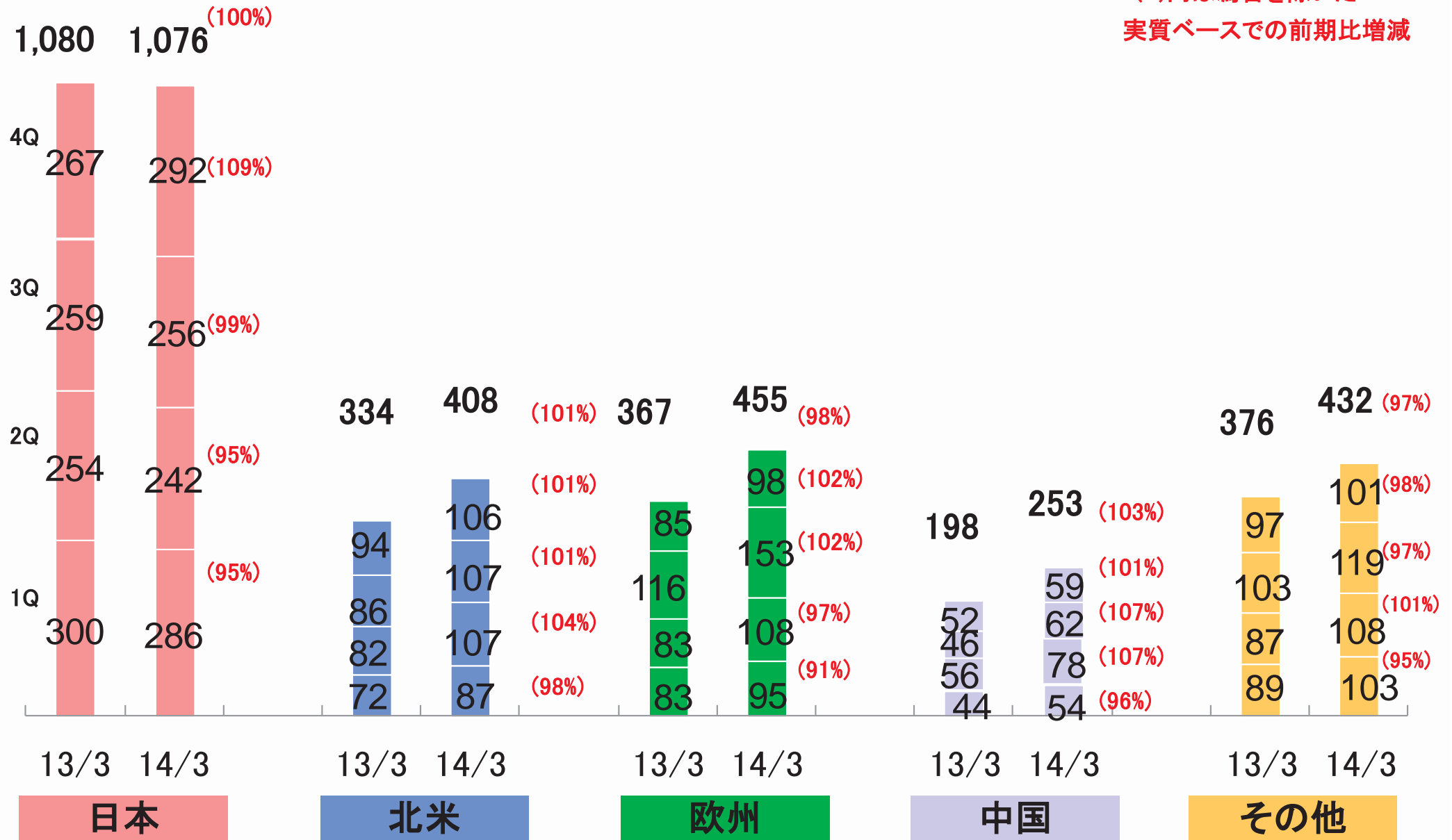
●前回予想は2014/2/5 発表

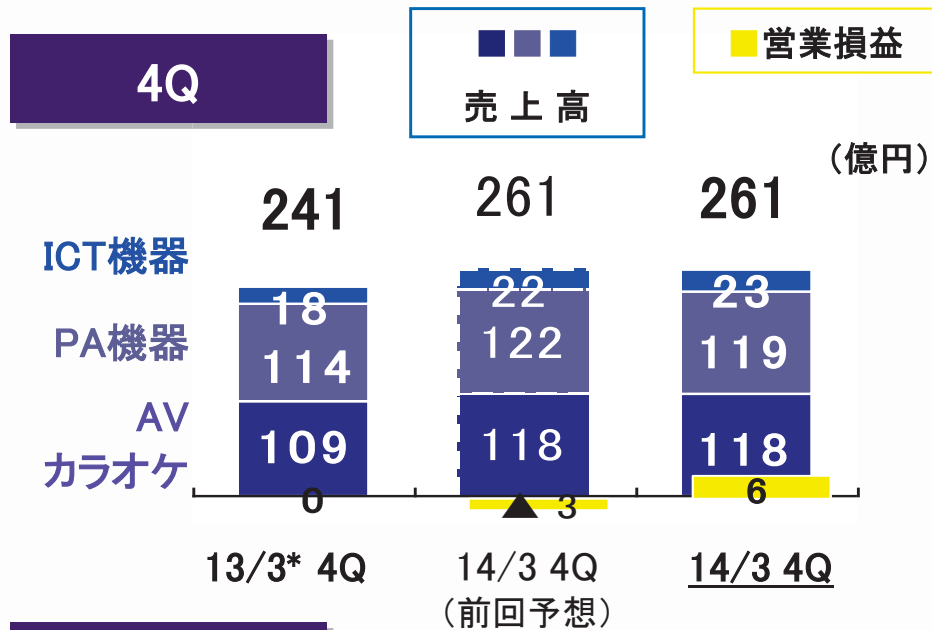
# 楽器事業(地域別の販売状況)



(億円)

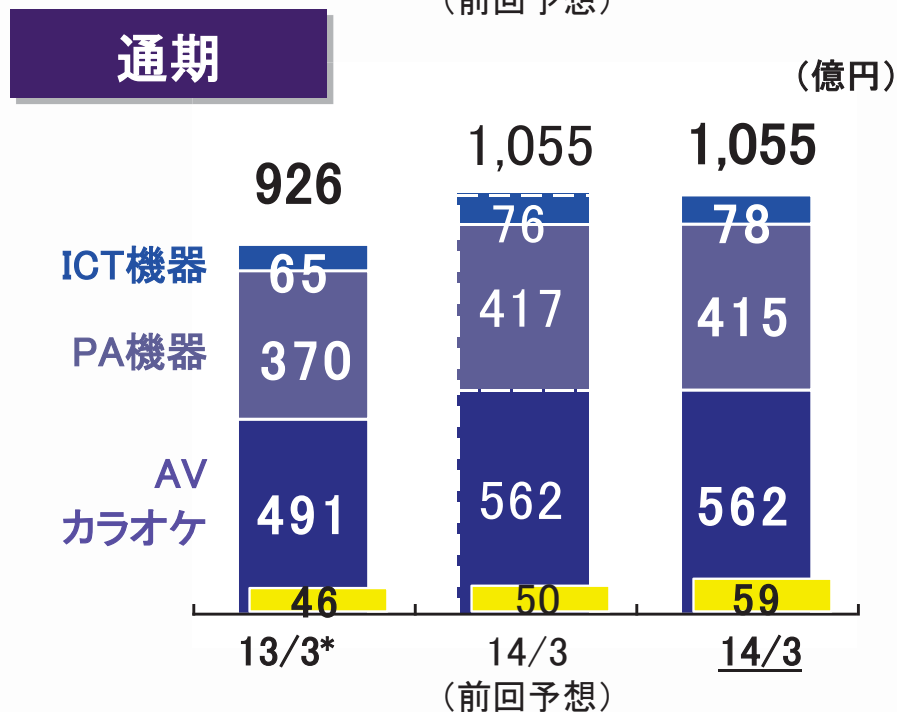
\* ( )内は為替を除いた  
実質ベースでの前期比増減





### 4Qの状況

- ・対前期増収、対前回予想通り
- ・AV機器は、北米、欧州で対前期苦戦
- ・PA機器は設備用音響機器が期待に届かず
- ・ルーター、カラオケは堅調に推移
- ・損益は、販管費等経費減により対前回予想で増益



### 通期の状況

- ・対前期増収増益 対前回予想では増益
- ・AV機器は、競争激化で実質前年割れ
- ・PA機器も設備用音響機器振るわず対前期に実質届かず
- ・通信カラオケは、想定以上で推移
- ・ルーターは、期初の在庫調整による停滞から回復し好調に推移

●前回予想は2014/2/5 発表

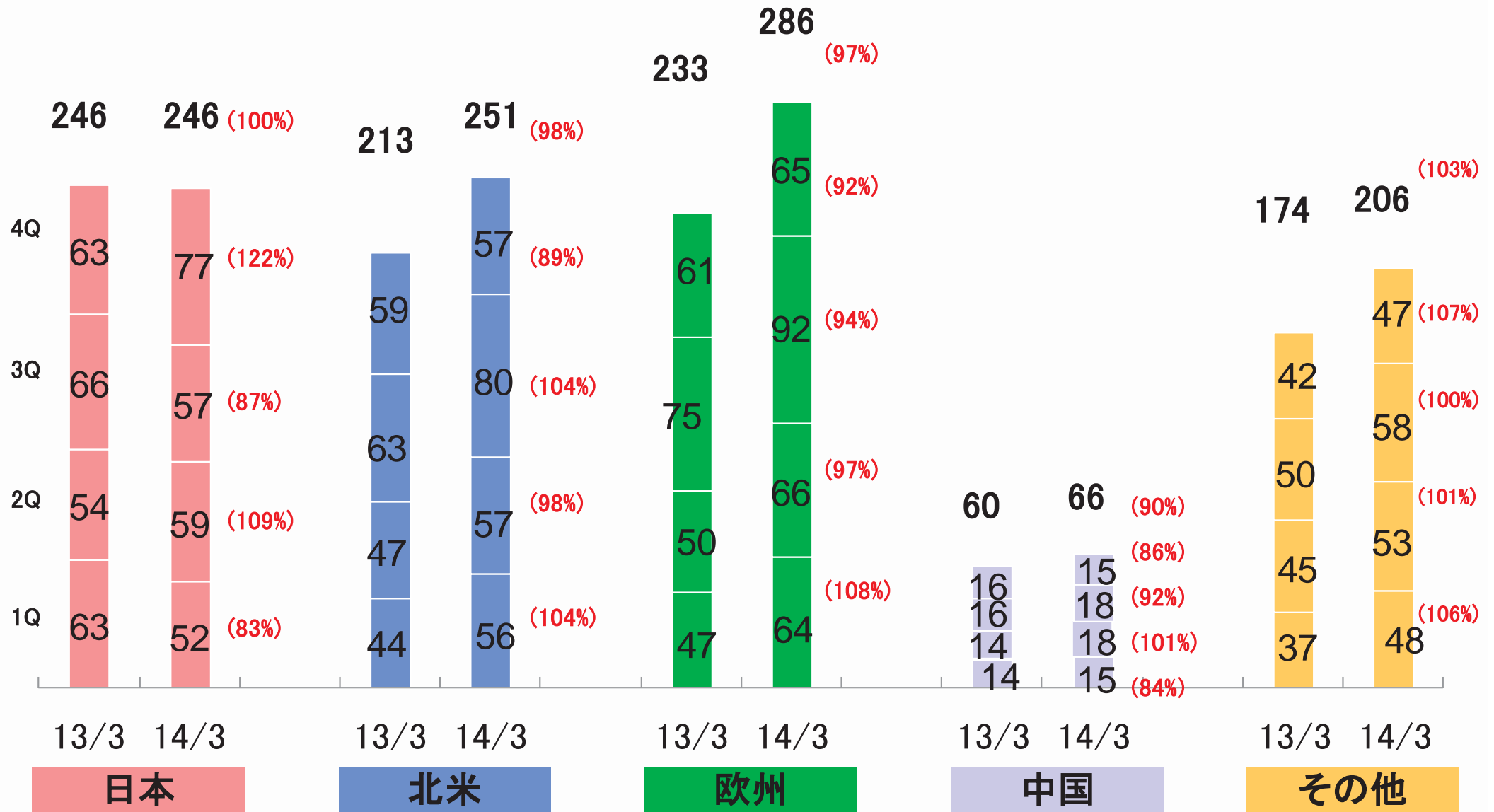


# 音響機器事業(地域別の販売状況)



(億円)

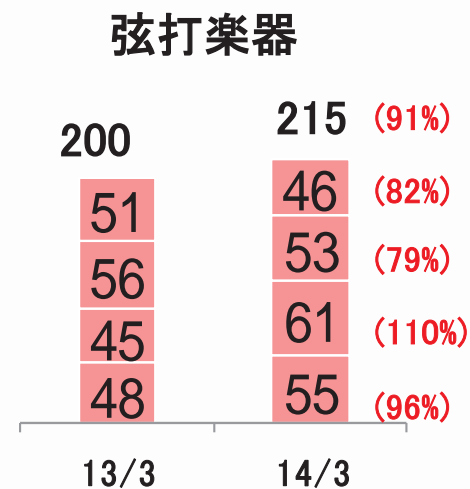
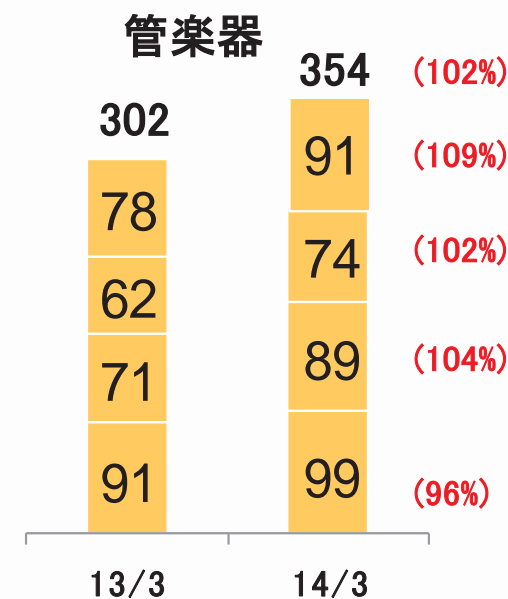
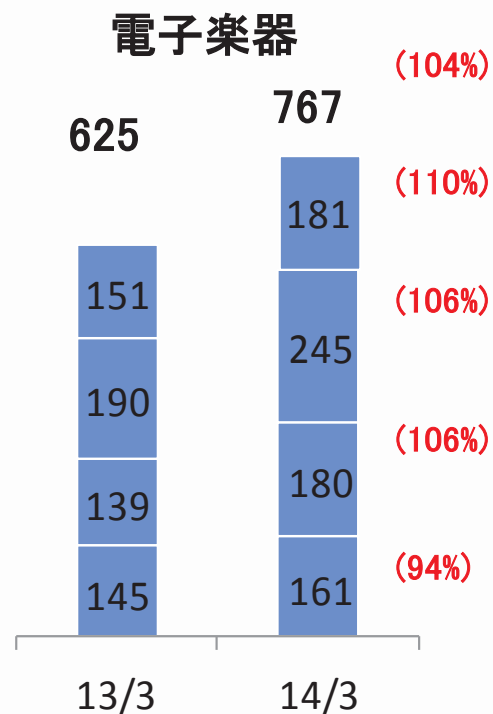
\*( )内は為替を除いた  
実質ベースでの前期比増減



# 楽器・音響機器事業(主要商品別販売状況)

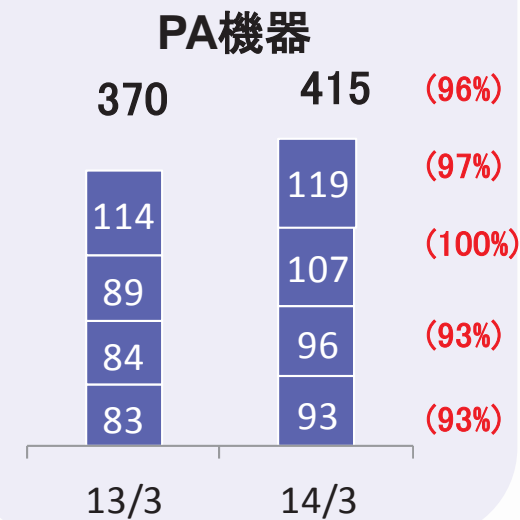
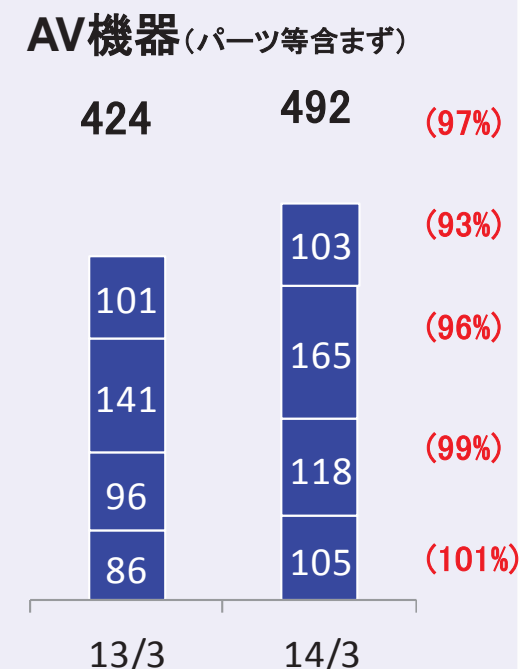


## 楽器事業

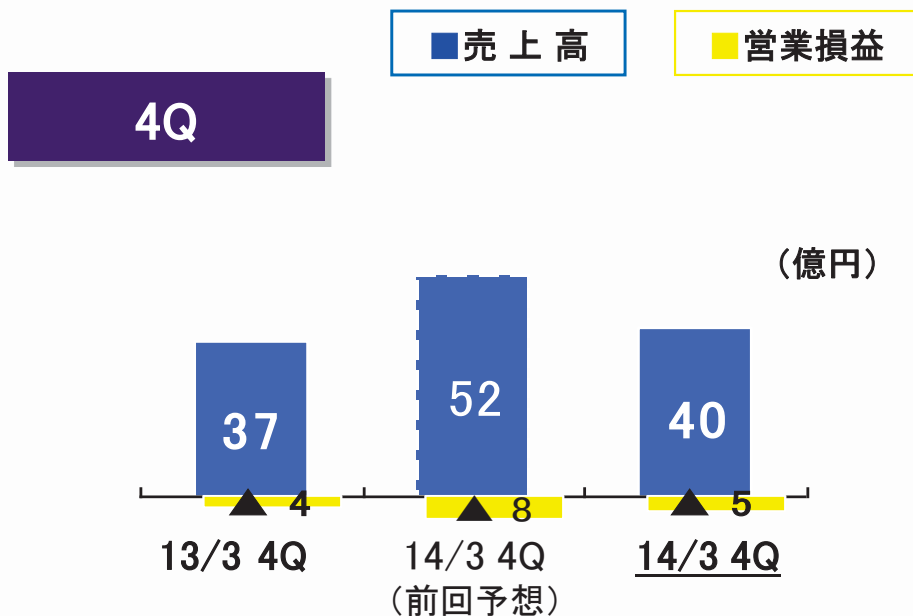


## 音響機器事業

(億円)

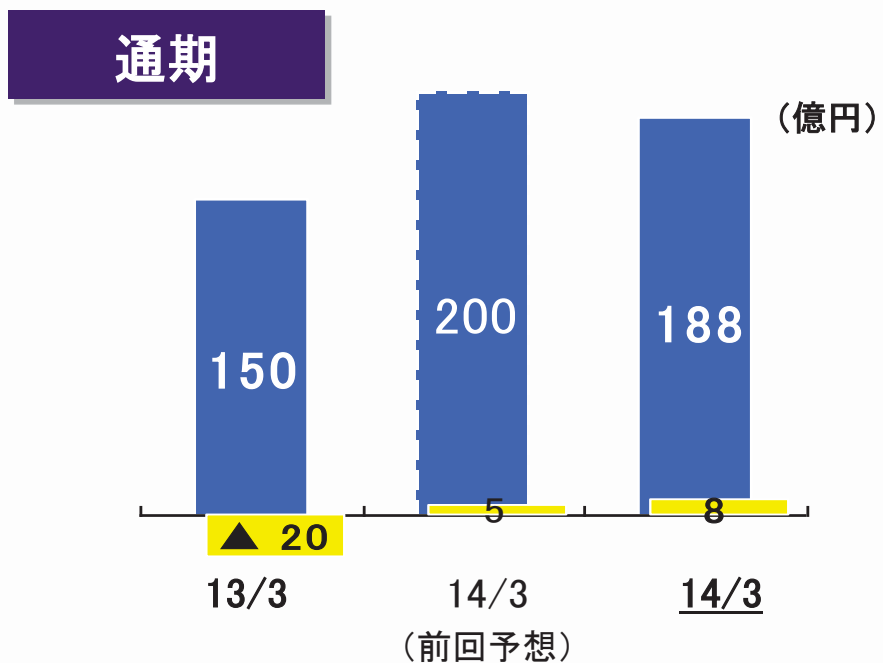


\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



**4Qの状況**

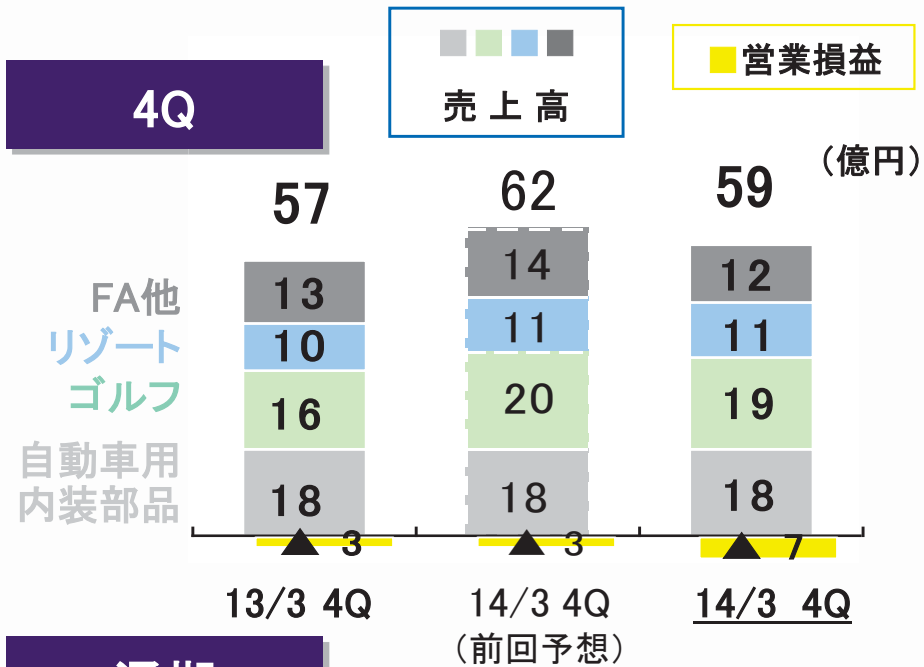
- ・対前期増収、対前回予想では減収
- ・アミューズメント用及び、スマートフォン用地磁気センサーが期待に届かず
- ・損益は、商品構成の変化、経費削減等で対前回予想で改善



**通期の状況**

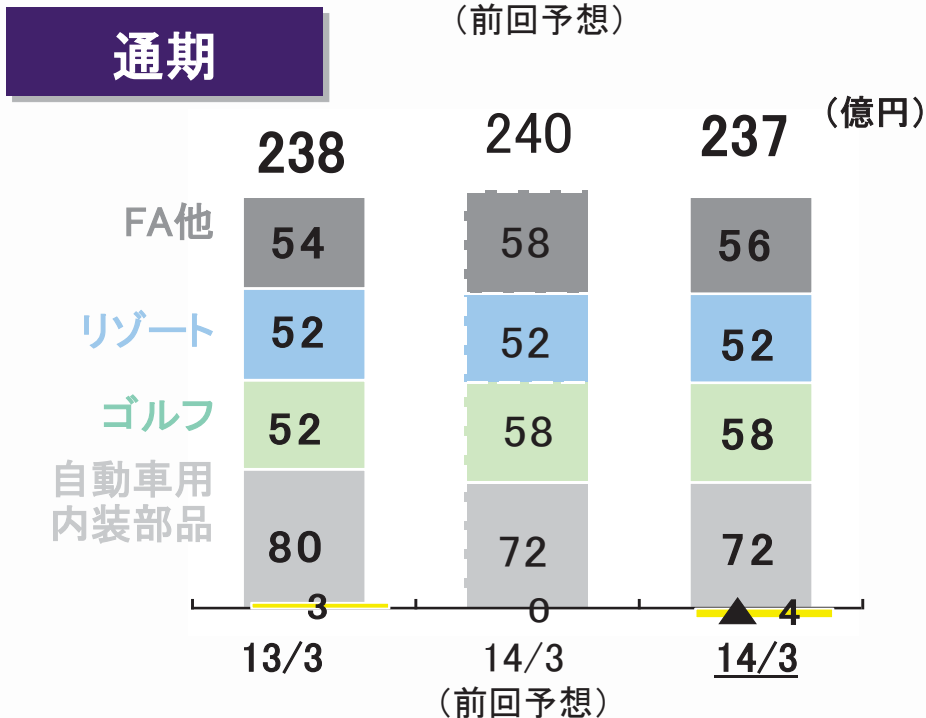
- ・対前期増収、対前回予想では減収
- ・アミューズメント用、スマートフォン用部品が対前期増収も下期減速
- ・損益は前期営業損失から黒字転換

# その他の事業



**4Qの状況**

- ・対前期増収も、対前回予想では減収
- ・リゾートの集客が想定に届かず
- ・ゴルフは、海外市場回復で対前期増収も前回予想に届かず
- ・自動車用内装部品は堅調もFA機器は苦戦



**通期の状況**

- ・売上は前期並み、対前回予想には届かず
- ・自動車用内装部品は、前回予想通り
- ・ゴルフは海外市場回復で増収
- ・損益は、FA、ゴルフ等の対前回予想で損益悪化もあり営業損失

# 2015/3期 業績予想



■2015年3月期は、増収増益を想定

(億円)

	14/3	15/3予想	増減額	伸び率
売上高	4,103	4,300	+197	+4.8%
営業利益 (営業利益率)	260 (6.3%)	290 (6.7%)	+30	+11.6%
経常利益 (経常利益率)	261 (6.4%)	280 (6.5%)	+19	+7.1%
当期利益 (当期利益率)	229 (5.6%)	210 (4.9%)	▲19	▲8.3%

## 為替レート (円)

売上高	US\$	100	100
	EUR	134	135
利益	US\$	100	100
	EUR	129	135

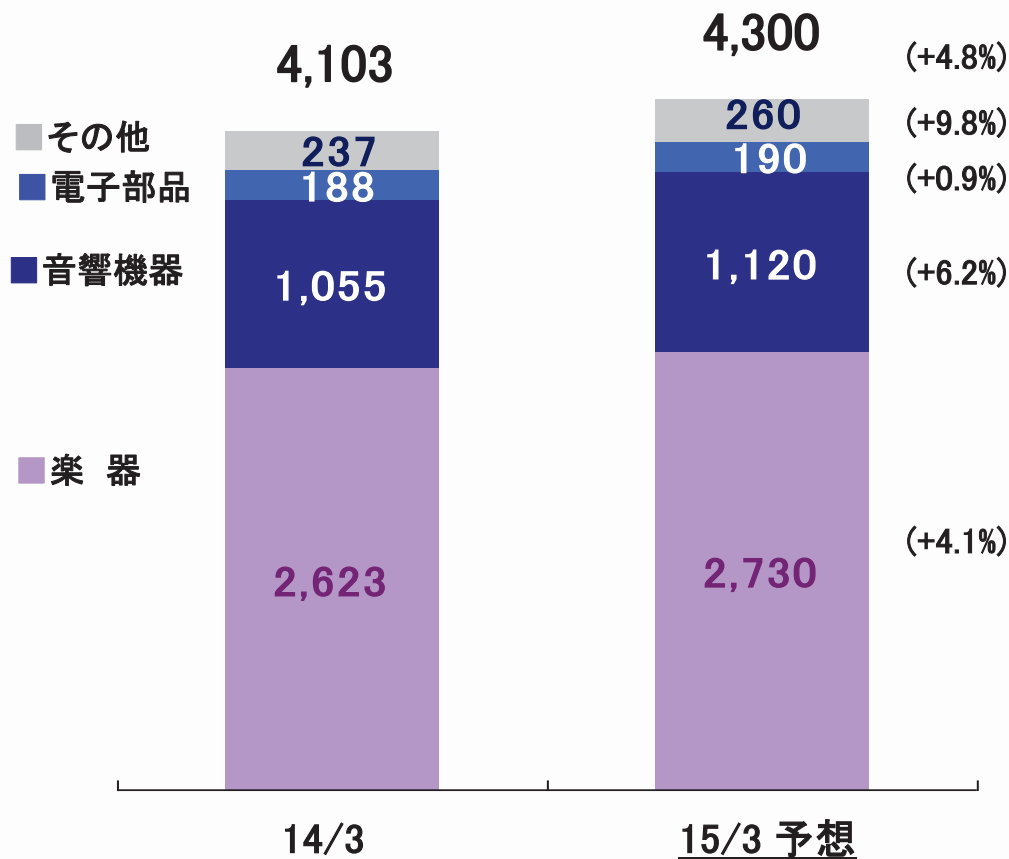
# 2015/3期 通期事業別業績予想



## 売上高

(億円)

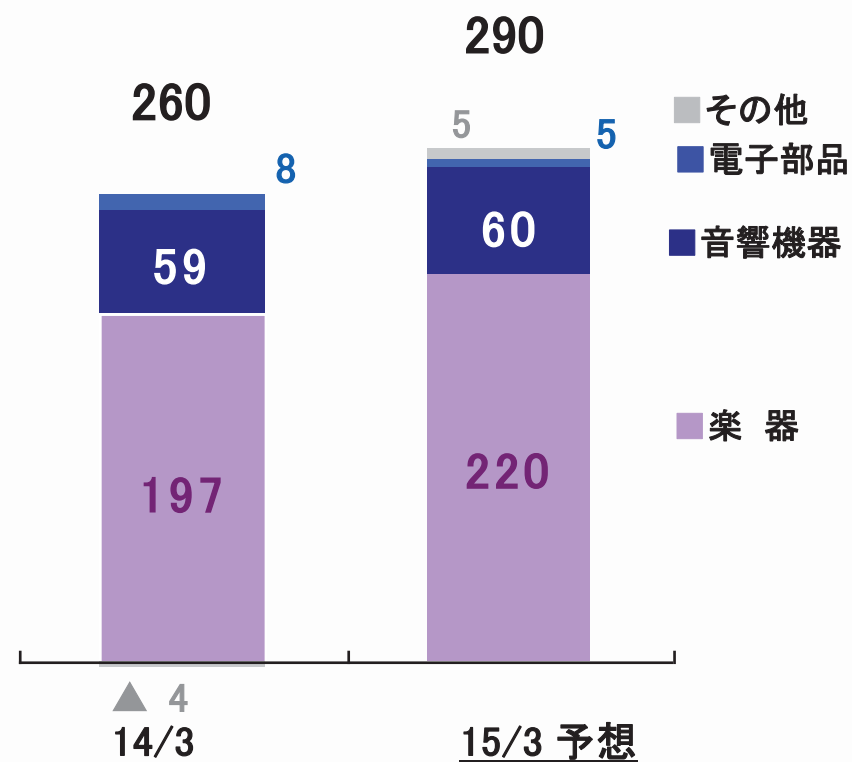
前年同期比



為替影響額 (億円)	
前期比較	▲24 楽器 ▲19 音響機器 ▲6 電子部品 +1

## 営業利益

(億円)



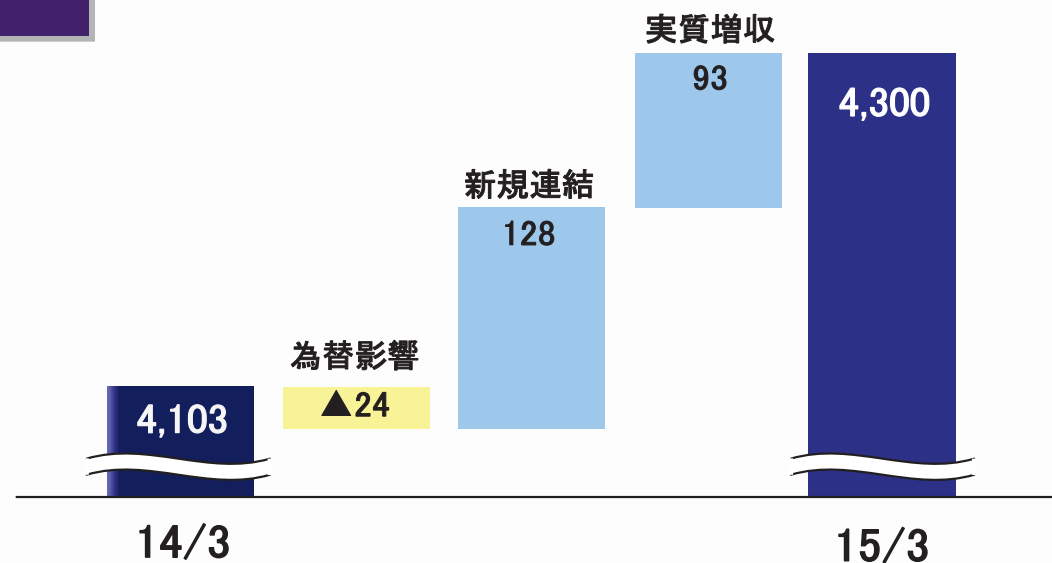
為替影響額 (億円)	
前期比較	+19 楽器 +14 音響機器 +5 電子部品 +0

# 2015/3期 売上高・営業利益予想増減要因

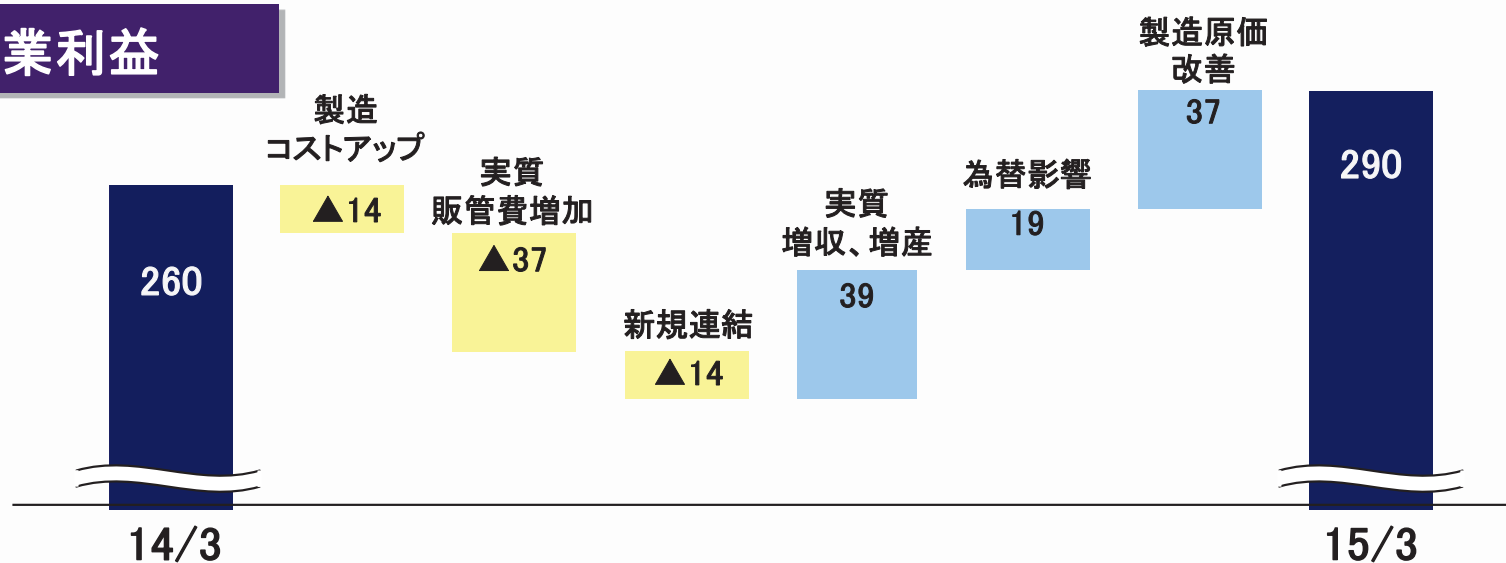


(億円)

## 売上高



## 営業利益

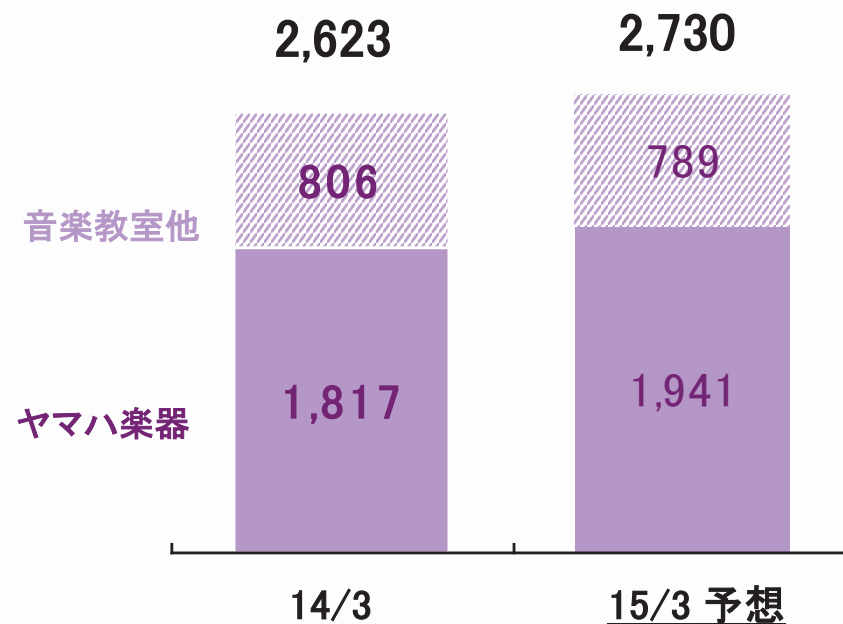


## 通期予想

- ・対前期増収増益（Line6新規連結含む）
- ・先進国は国内を除き堅調な推移を想定
- ・中国、新興国は不透明感はあるが一定の成長
- ・エレクトーン、電子ピアノ等新商品効果、及びギター生産影響からの回復も見込む

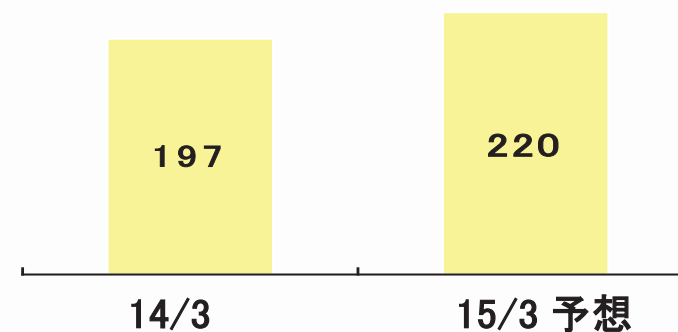
## 売上高

（億円）



## 営業利益

（億円）

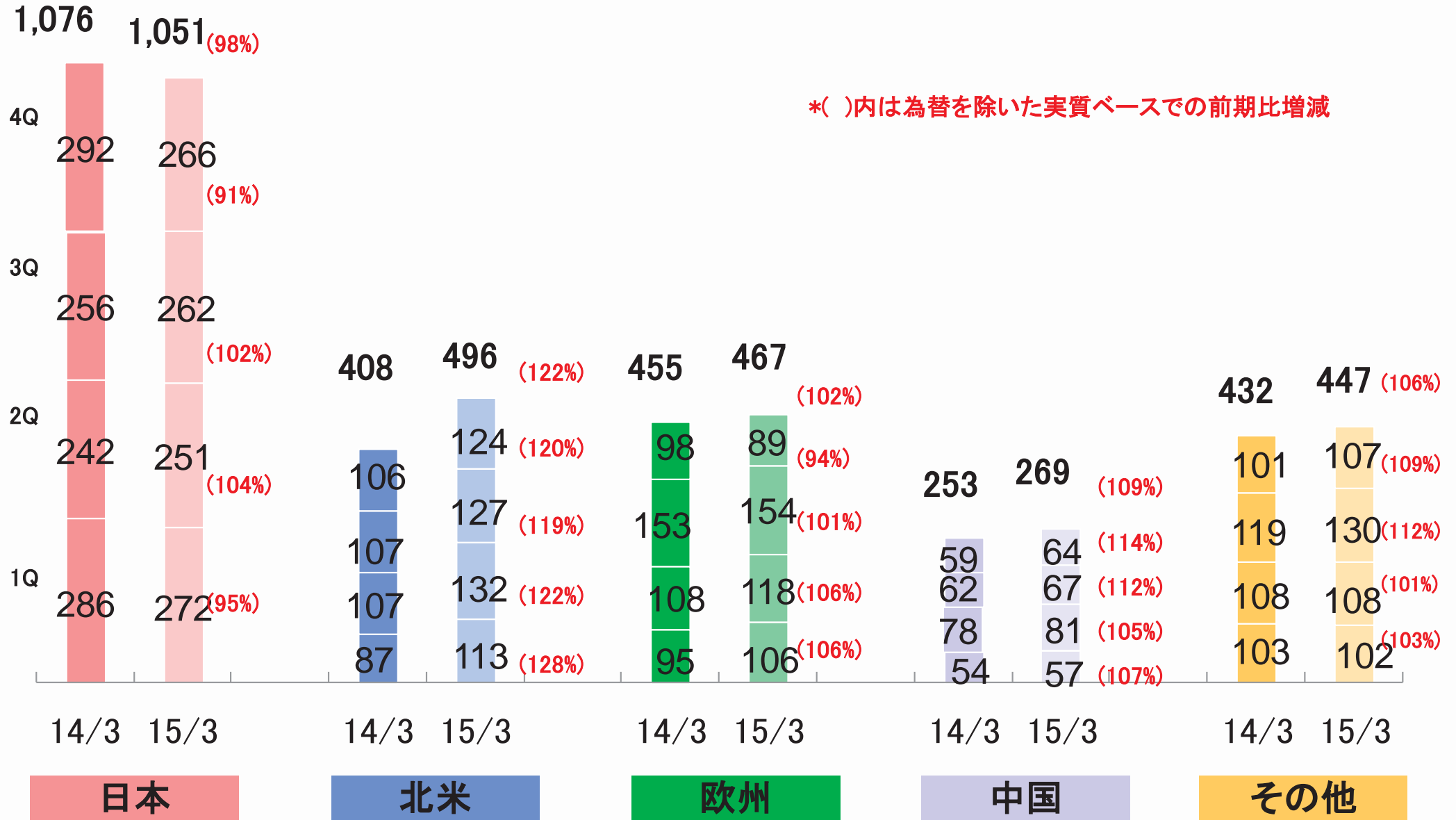




# 楽器事業(地域別の販売予想)

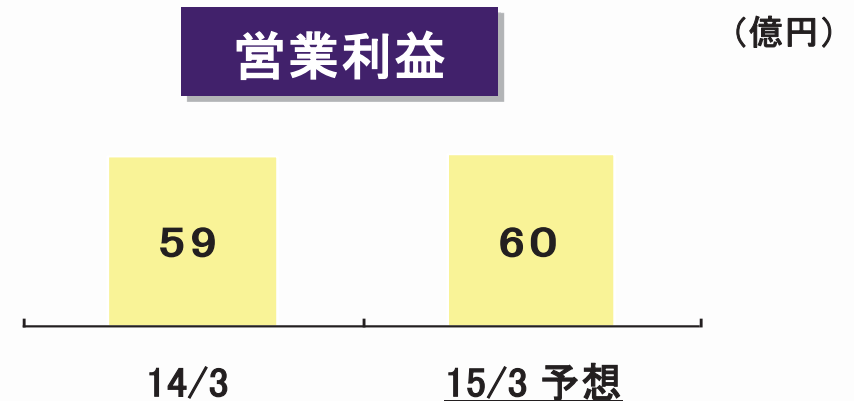
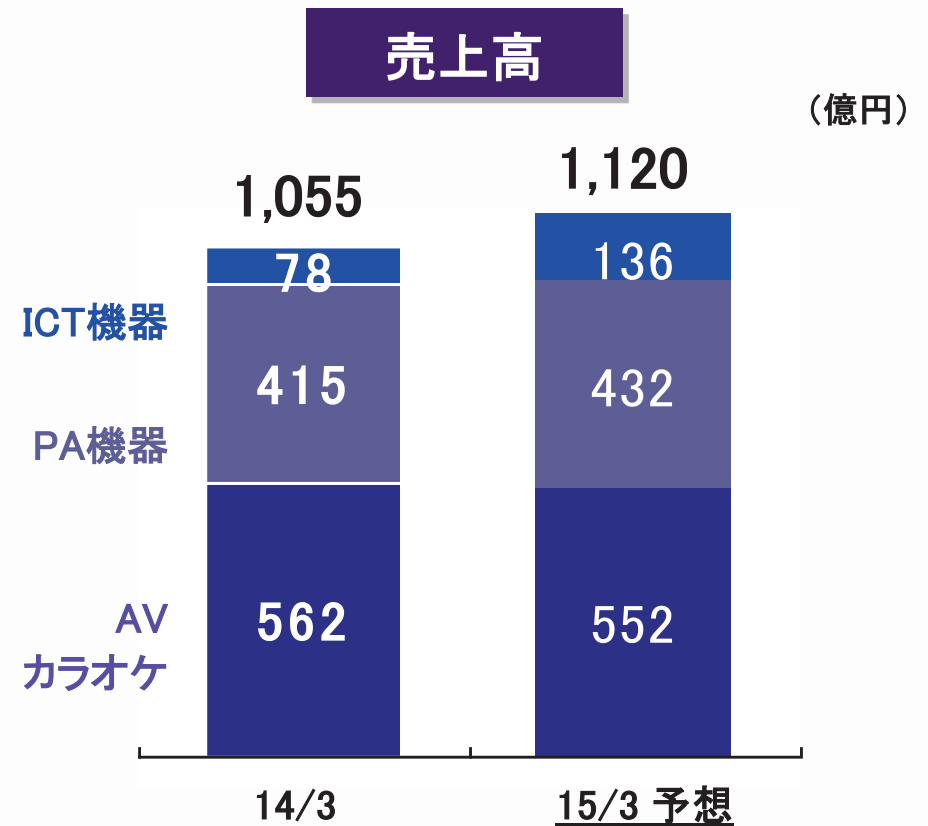


(億円)



**通期予想**

- ・対前期増収、損益横ばい  
（Revolabs社新規連結含む）
- ・PA機器、AV機器は新商品投入で増収見込む
- ・ICT機器はルーター中心に増収
- ・損益は、経費増等で増収に比べ増益は小幅

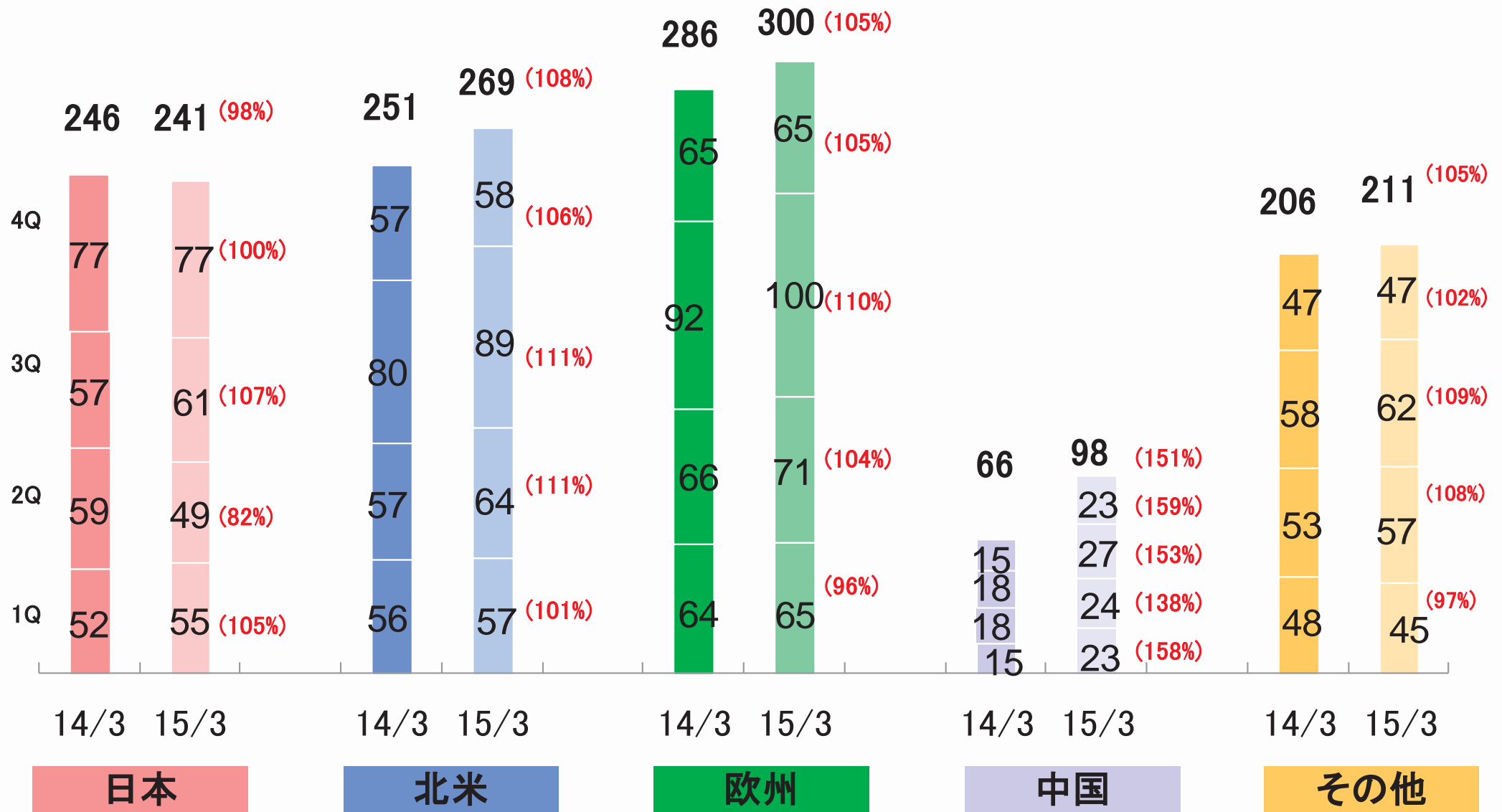


# 音響機器事業(地域別の販売予想)



(億円)

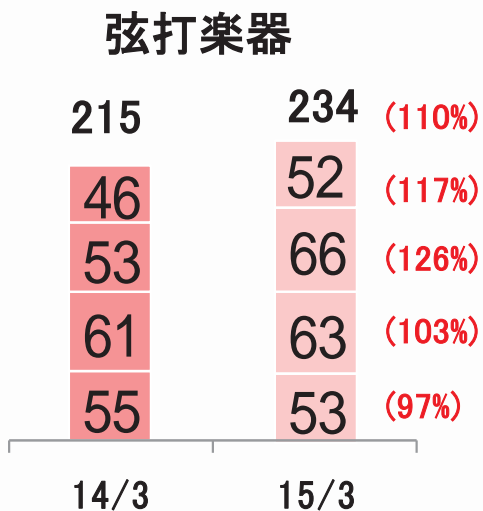
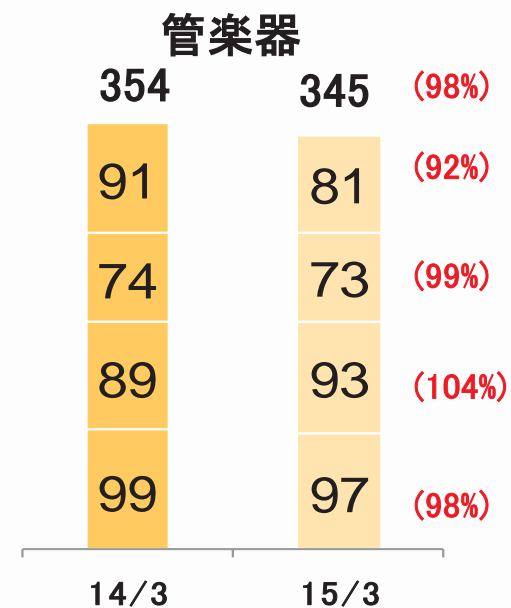
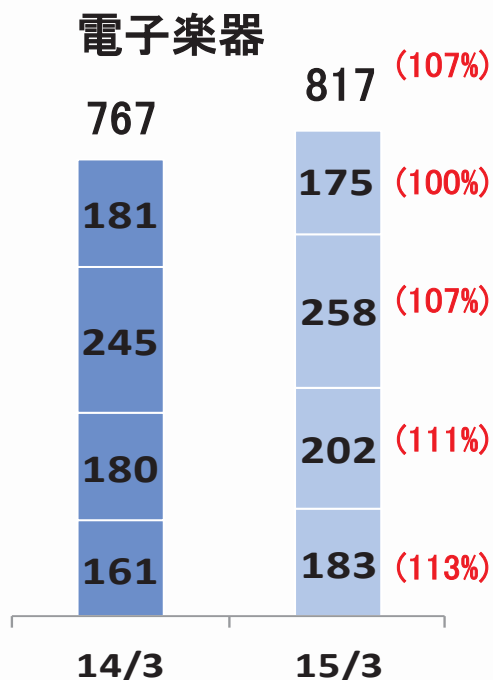
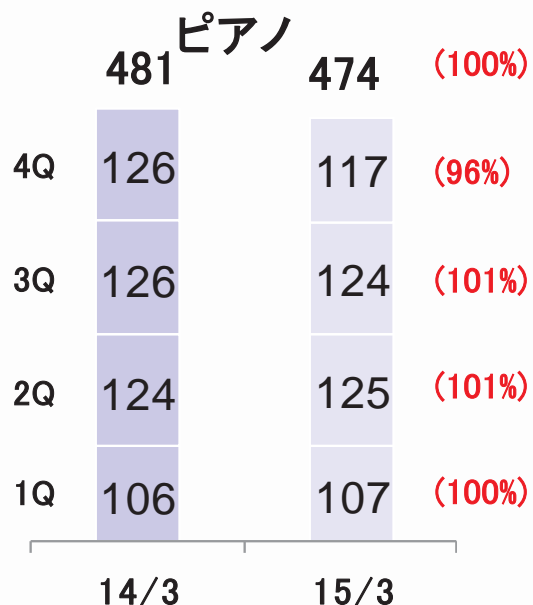
\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



# 楽器・音響機器事業(主要商品別販売予想)

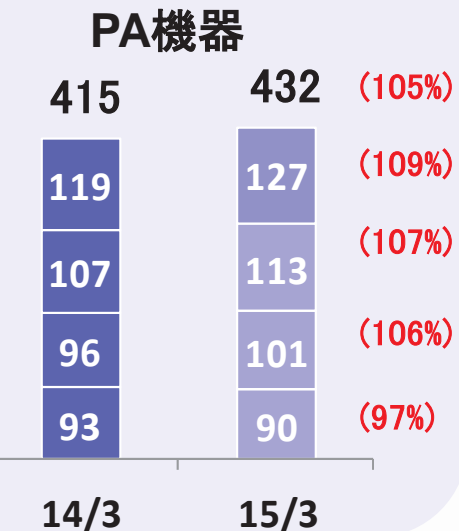
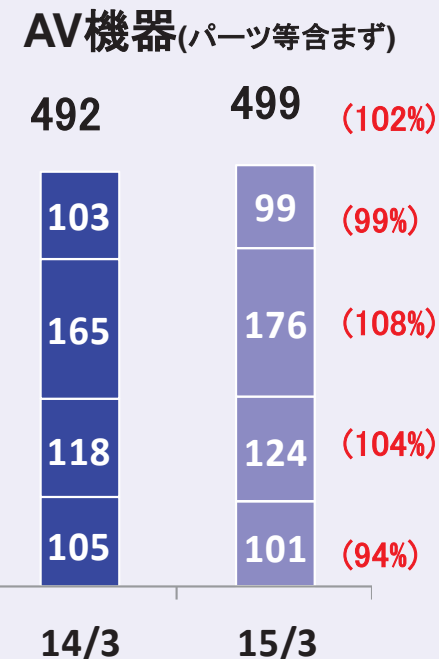


## 楽器事業



## 音響機器事業

(億円)



\*( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

- 米楽器・音響機器メーカーLine6社(12月)、米通信・音響機器メーカーRevolabs社(3月)の完全子会社化を発表

LINE 6



モデリング技術を核に、ギターアンプ／エフェクターなど、ギタリスト向け周辺機器で高い評価を獲得

revo labs



会議室設備市場で「ワイヤレスマイク」を核にポジション構築



新規事業での成長加速、既存事業とのシナジー効果創出を図る

電子楽器の新たな進化が実現  
最新技術の投入と新コンセプトユニットの開発  
ヤマハ エレクトーン® 『STAGEA®』



ELS-02X プロフェッショナルモデル  
1,580,000円 (税抜)

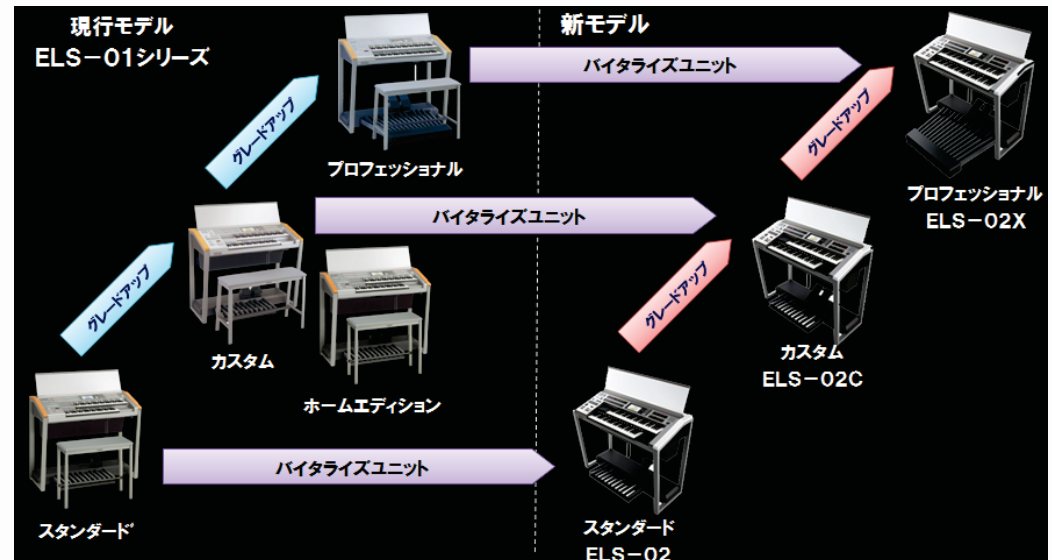
(2014年4月発売)



ELS-02C カスタムモデル  
980,000円 (税抜)



ELS-02 スタンダードモデル  
650,000円 (税抜)



現在使用中のELS-01シリーズにバイタライズユニットを取り付けることによって、新たに1台買い替えることなく、ELS-02シリーズとほぼ同等の性能を実現

## 二つの「コンサートグランドピアノ音色」で、演奏の幅が広がる電子ピアノ ヤマハ クラビノーバ『CLP』シリーズ



ヤマハ クラビノーバ『CLP-585PE』  
黒鏡面艶出し  
400,000円(税抜)



ヤマハ クラビノーバ『CLP-545WA』  
ホワイトアッシュ調  
215,000円(税抜)

### コンサートグランドピアノの音源を搭載



左: ヤマハ CFX 右: ベーゼンドルファー インペリアル

### シンプルで機能的な操作パネル



(2014年5月から順次発売)



最新のサウンドエンジンと音楽制作の機能を凝縮  
ヤマハ ミュージック・プロダクション・シンセサイザー 『MOXF6』『MOXF8』



ヤマハ ミュージック・プロダクション・シンセサイザー 『MOXF6』『MOXF8』 オープン価格

優れた楽器デザイナーや確かな技術を身にまとうクラフトマンシップ、世界を舞台に活躍するアーティストたちの経験、技術、そして夢が結実したシリーズ

ヤマハ トランペット 『Xeno』シリーズ



ヤマハ トランペット YTR-8335 『Xeno』  
255,000円 (税抜)



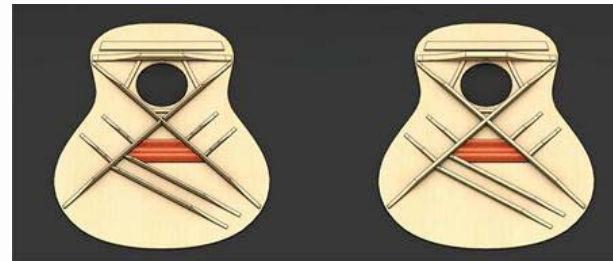
ヤマハ トランペット YTR-8335RS 『Xeno』  
280,000円 (税抜)



さらに改良を重ね、独自の木材改質技術「A.R.E.」を全モデルに採用  
**ヤマハ アコースティックギター『Lシリーズ』**  
- ラインアップの全てをモデルチェンジ -



ヤマハ アコースティックギター  
『LL36 ARE』  
360,000円 (税抜)



ノンスキャロップ・Xブレイシング  
(左:従来モデル、右:新モデル)



ヘッドと5層構造ネック  
(『LL36 ARE』)

(2014年3月発売)

より深いベースの魅力を提案するアクティブベースの次世代スタンダード  
**ヤマハ エレキベース『TRBX300』『TRBX500』シリーズ**



ヤマハ エレキベース  
『TRBX304 CAR』  
45,000円 (税抜)



ヤマハ エレキベース  
『TRBX505 TBL』  
72,000円 (税抜)

直感的で使いやすいインターフェースを備え、音質とデザイン、  
堅牢性にこだわったミキシングコンソール  
ヤマハ ミキシングコンソール 『MGシリーズ』



(2014年2月から順次発売)

上位機種「CLシリーズ」の核となる要素を凝縮したオールインワンミキサー  
ヤマハ デジタルミキシングコンソール 『QLシリーズ』

DIGITAL MIXING CONSOLE  
**QL** SERIES



(2014年4月発売)

照明と一体になった、新提案のオーディオシステム

## ヤマハ ライティングオーディオシステム”Relit (レリット)”『LSX-700』



ヤマハ ライティングオーディオシステム『LSX-700』  
本体価格 70,000円 (税抜)  
写真左から (B) ブラック、(T) ブラウン



Relit「LSX-700 (B) ブラック」設置イメージ

プリ/パワーのセパレート構成で11.2ch再生の真髄に迫る

AVENTAGE (アベンタージュ) シリーズ

## ヤマハ AVプリアンプ『CX-A5000』 / パワーアンプ『MX-A5000』

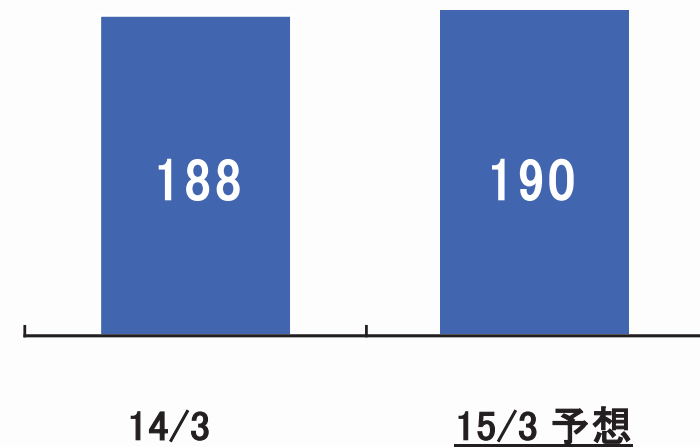


AVプリアンプ「CX-A5000」(B) ブラック  
250,000円 (税抜)

パワーアンプ「MX-A5000」(B) ブラック  
300,000円 (税抜)

## 売上高

（億円）



## 通期予想

- ・売上、損益共に、概ね前期並みを想定
- ・地磁気センサー採用増も単価下落傾向
- ・アミューズメント用納入先回復に期待

## 営業利益

（億円）



# その他の事業（予想）

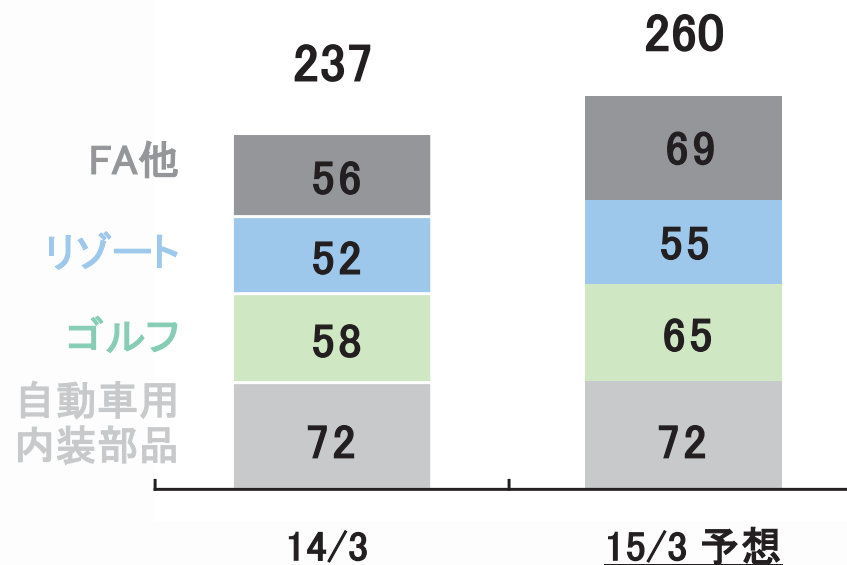


## 通期予想

- ・対前期増収増益、
- ・FA機器、ゴルフ、リゾートで増収を想定
- ・自動車用内装部品は前期並み
- ・損益は、増収等により黒字転換を目指す

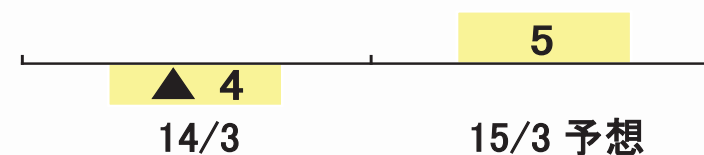
## 売上高

(億円)



## 営業利益

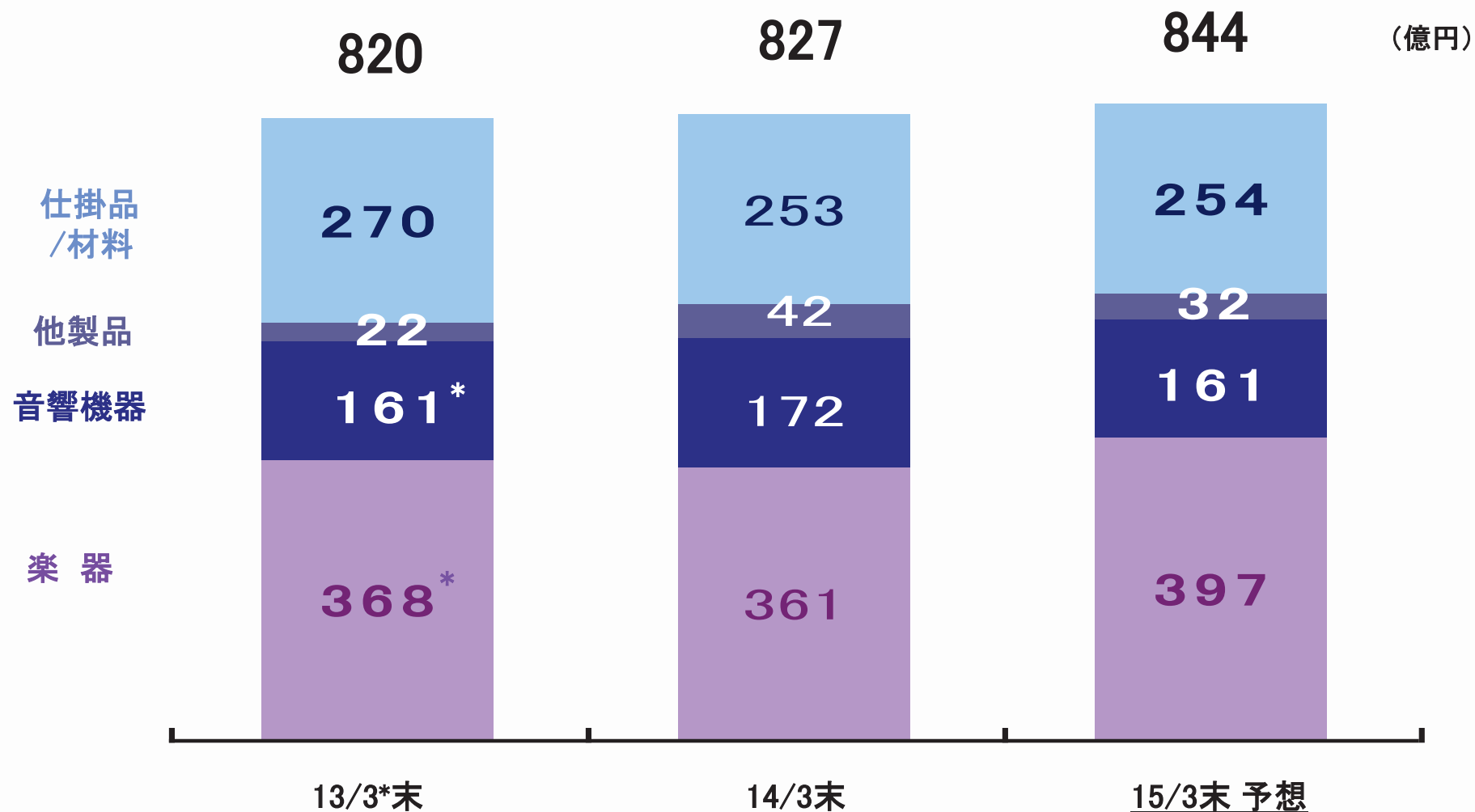
(億円)



# 棚卸資産

▶14/3期末総在庫は827億円（前回予想は810億円）

為替影響は対前期実績で+51億円、対前回予想で+20億円あり、実質減

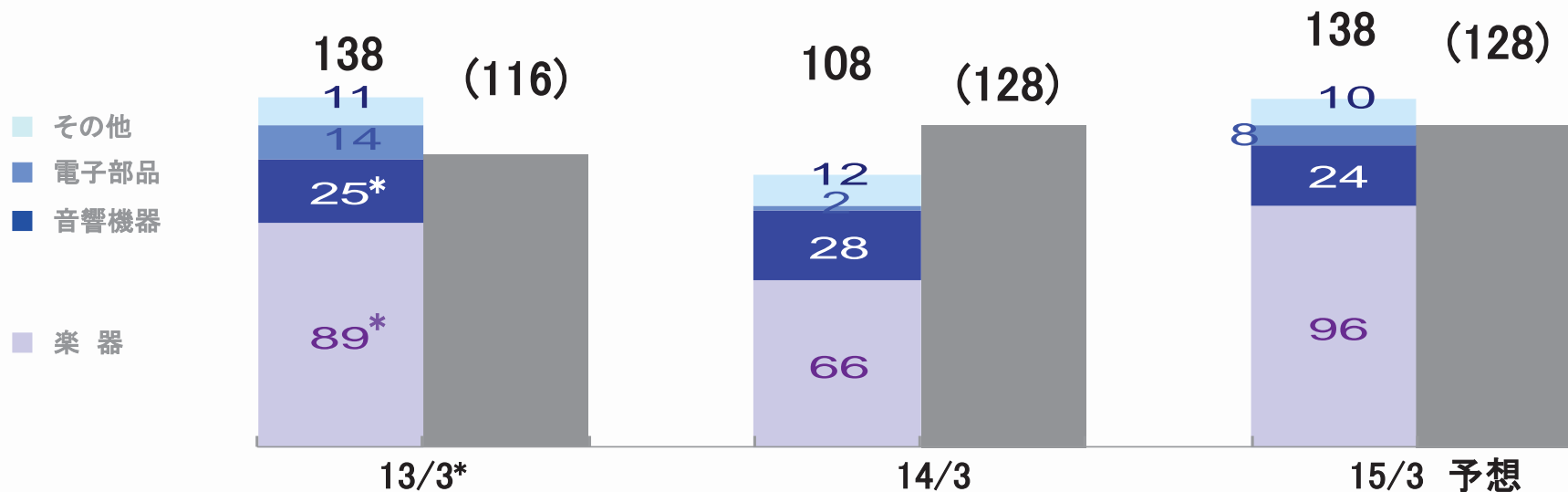


# 設備投資額・減価償却費/研究開発費

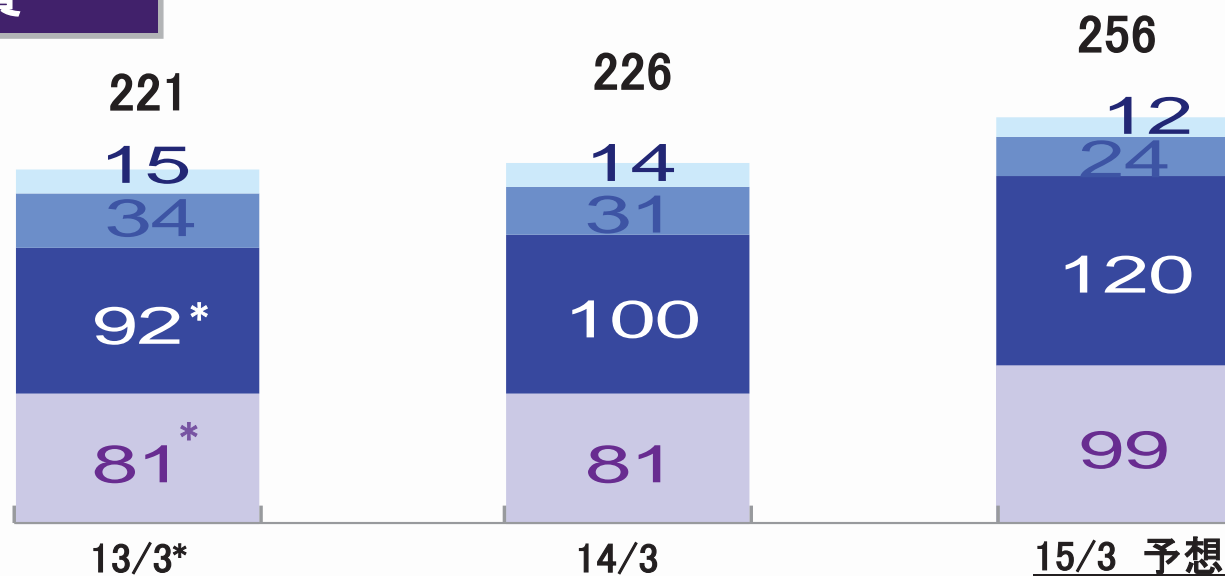


## 設備投資額(減価償却費)

(億円)



## 研究開発費



# 貸借対照表



(億円)

	13/3末	14/3末	15/3末 予想
現金	514	606	762
売上債権	510	567	573
棚卸資産	820	827	844
他流動資産	135	145	145
固定資産	1,927	2,244	2,195
<b>資産計</b>	<b>3,906</b>	<b>4,389</b>	<b>4,519</b>
仕入債務	203	216	224
借入金	101	88	87
リゾート預託金	154	153	154
他負債	1,152	1,184	1,152
純資産計	2,296	2,748	2,902
<b>負債純資産計</b>	<b>3,906</b>	<b>4,389</b>	<b>4,519</b>

※年金未認識債務については14/3期1Q末にてオンバランス済み



# 経営数値推移



(億円)

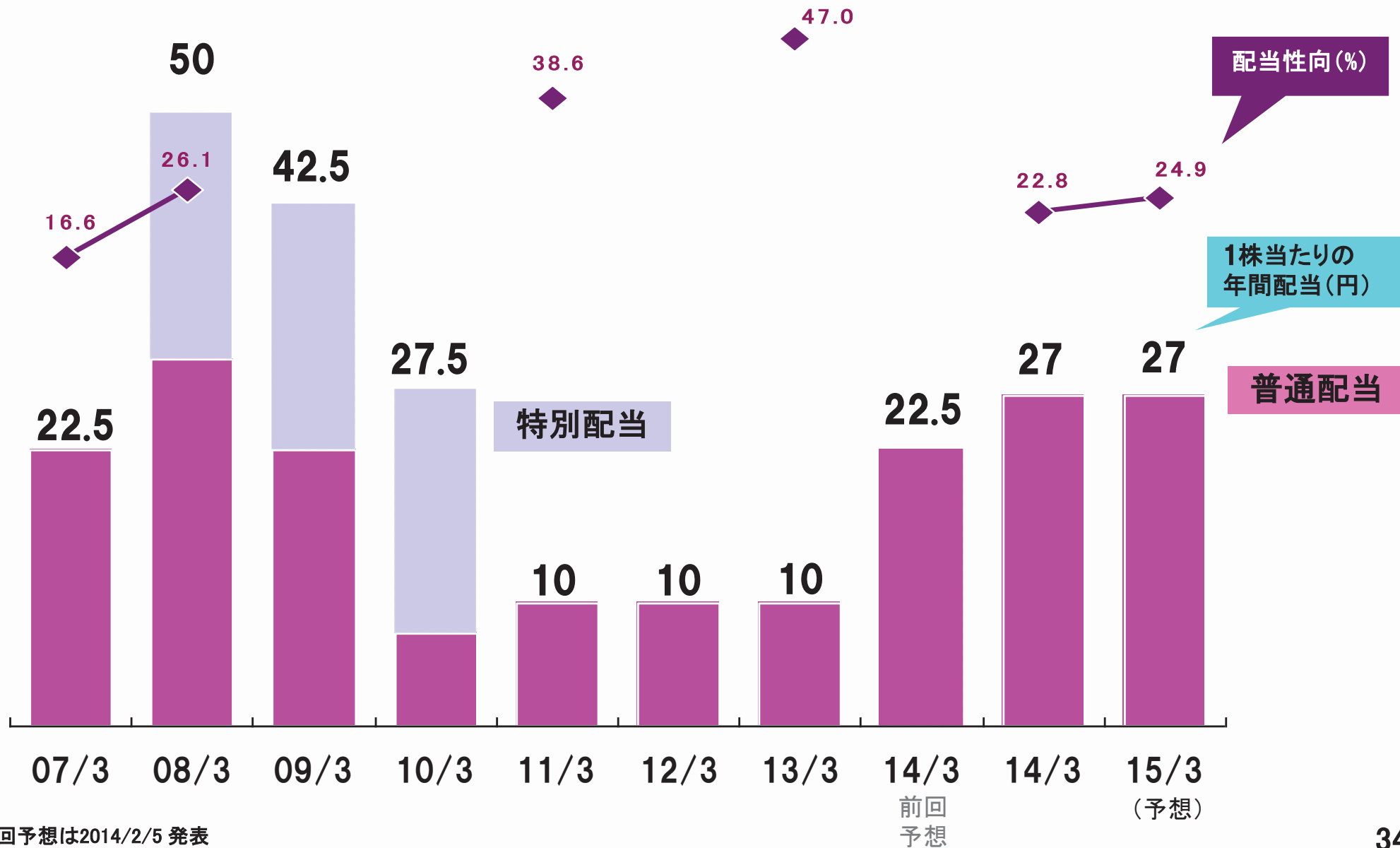
	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3 予想	中計目標 16/3
売上高	3,739	3,566	3,669	4,103	4,300	4,300
営業利益 (営業利益率)	132 (3.5%)	81 (2.3%)	92 (2.5%)	260 (6.3%)	290 (6.7%)	300 (7.0%)
ROE	2.1%	—	1.9%	9.2%	7.5%	10%
FCF	129	19	▲49	103	207	(3年間) 500

## 為替レート (円)

売上高	US\$	86	79	83	100	100	85
	EUR	113	109	107	134	135	115
利益	US\$	86	79	82	100	100	85
	EUR	115	112	103	129	135	115

# 株主還元

- 2014/3期年間配当は、前回発表から4.5円増配の27円
- 2015/3期の年間配当も27円を予定



●前回予想は2014/2/5 発表

# 付属資料

# 通期営業外損益、特別損益

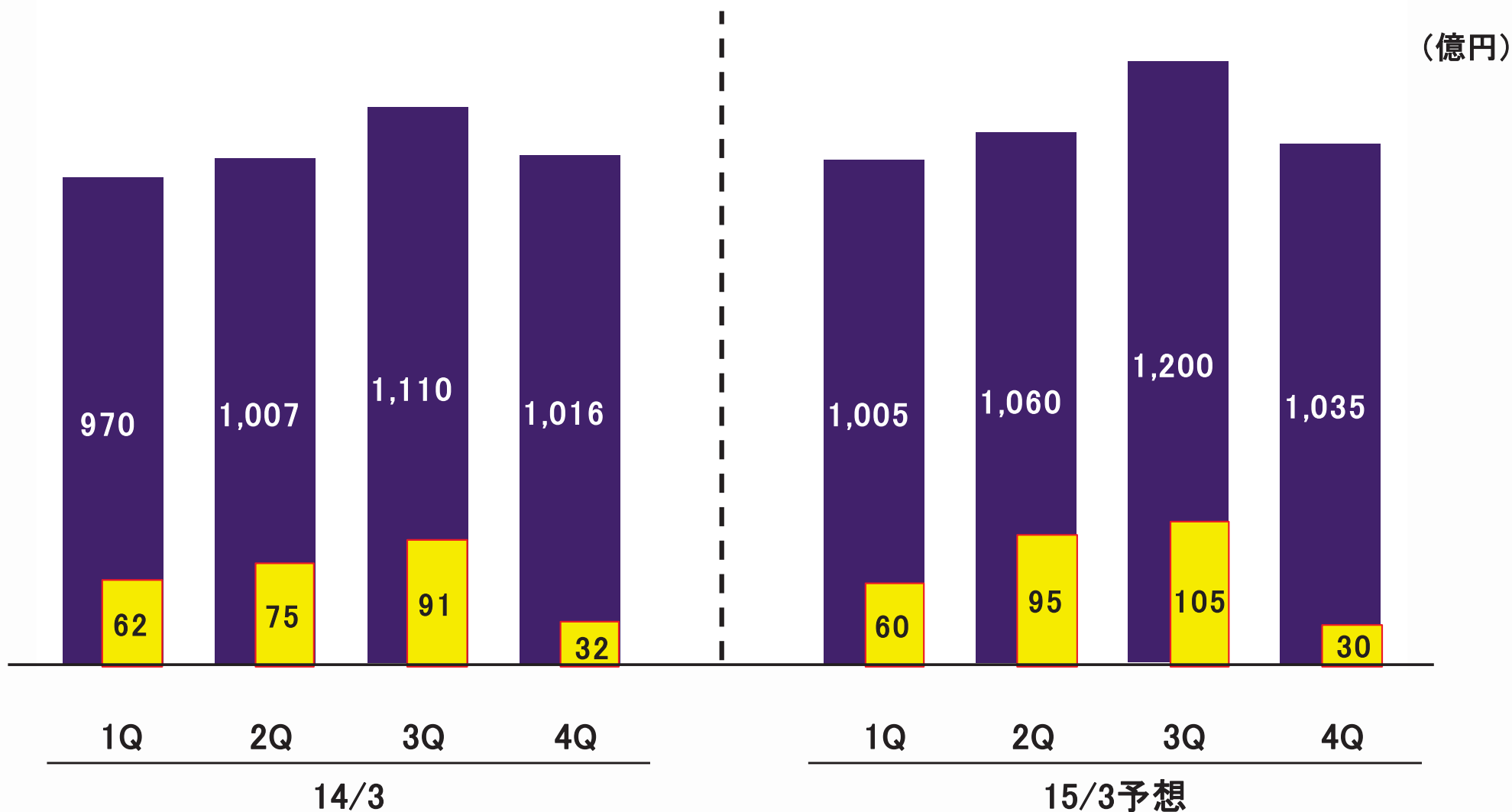


(億円)	13/3 通期	14/3 通期	15/3 通期予想
<b>営業外損益</b>			
金融収支	11	26	16
その他	▲17	▲25	▲26
計	▲6	1	▲10
<b>特別損益</b>			
固定資産処分損益	16	3	▲2
その他	▲24	▲6	2
計	▲8	▲3	0
<b>法人税他</b>			
法人税等	37	58	64
法人税等調整額	▲2	▲31	4
少数株主利益	2	2	2
計	37	29	70

構造改革費用  
▲31

投資有価証券売却益  
10  
構造改革費用  
▲9  
YMMI操業停止損失他  
▲7

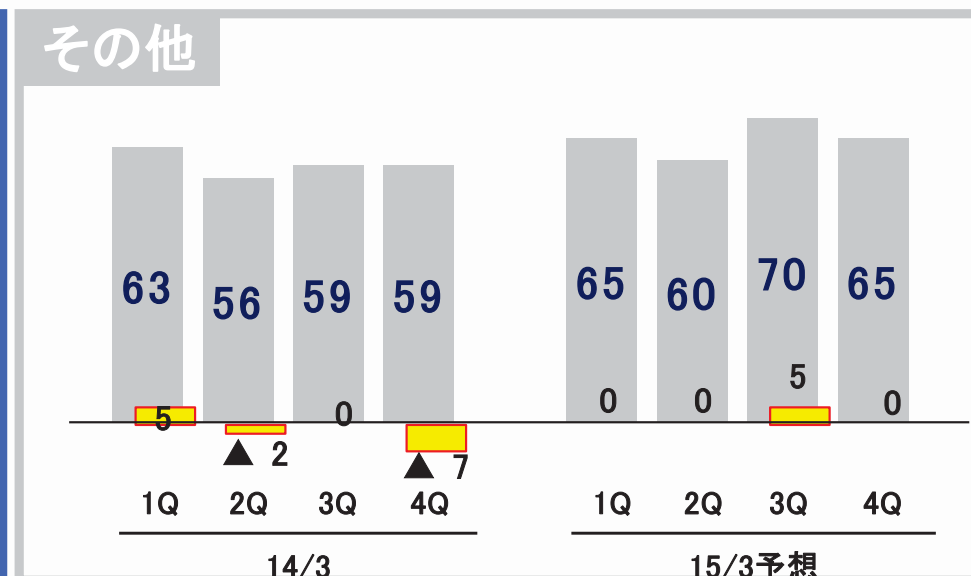
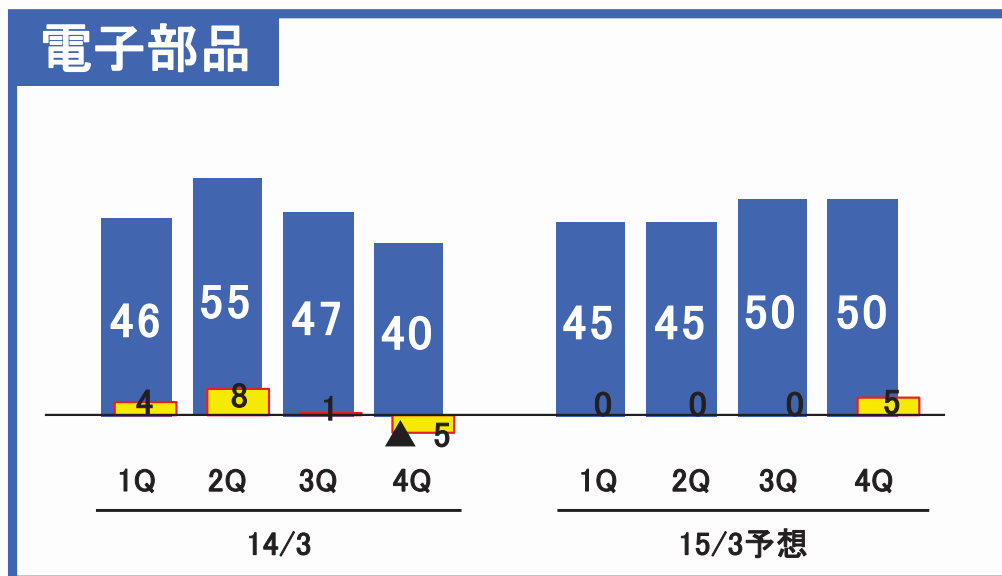
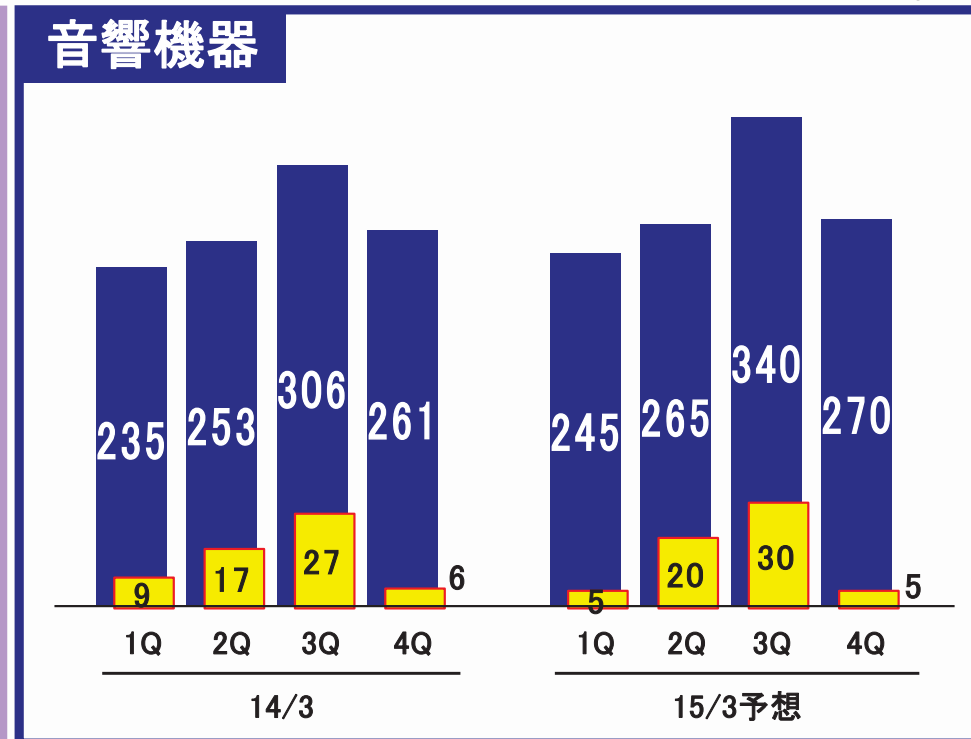
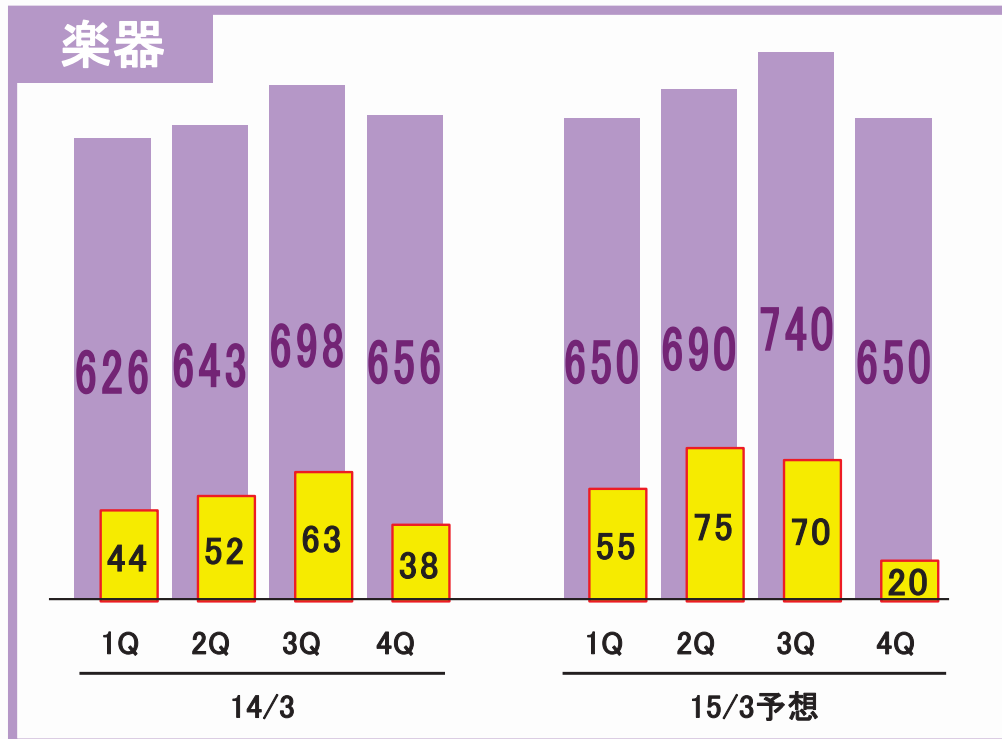
# 四半期別売上高／営業利益(全体)



# 四半期別売上高／営業利益(セグメント別)



(億円)



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。